



“心豊かに
笑顔あふれる”

響

所報〈ひびき〉

No.
104

青森県
総合社会教育センター

平成28年 2月19日

三大教育県 「実践の山形」から 学ぶ社会教育

平成27年11月10日（火）生涯学習・社会教育関係職員研修講座「第4回中堅職員研修」が当センターにて開催されました。

講座では「社会教育分野における青少年教育の実際」の演題で山形県南陽市みらい戦略課 文化会館庶務係長 嶋貫 憲仁 氏に山形県南陽市の取組事例を基に講演いただきました。

講演の中で嶋貫氏は次のように述べておられました。

『青年教育は事業実施が困難な分野だと考えています。その原因としては少子高齢化・人口減少・青年団組織の全国的な衰退など、社会構造の変化が背景にあるからだと考えています。』

『南陽市では行政職員と地域が一体となり、未来を担う若い人材の発掘と育成のため様々な事業の立ち上げを行い、地域や若者にアプローチしています。』

地域に埋もれた青年の発掘、地域や人との関係づくり、ネットワーク形成と組織化など、事業の目的や効果をより明確化し、段階的に実施する南陽方式と呼ばれる事業展開で青年教育に精力的に取り組んでいることを実感しました。

嶋貫氏を中心に南陽市で取り組んでいる青年教育に関連する主な事業を紹介します。

- ①「夢はぐくむ故郷(まち)南陽コンペティション」事業（目的：青年の発掘とまちづくりグループ化等）
- ②「国際青年ファームフォーラム in 南陽」事業（目的：世界の青年達との交流・シンポジウム等）

◎青年の人材発掘や海外交流を目的とした海外研修事業を実施し、青年トップリーダーの育成や国際的な視野を備えた人材育成につなげていました。



山形県南陽市みらい戦略課
文化会館庶務係長 嶋貫 憲仁 氏

また研修のまとめとして、社会教育で働く職員にとって“心に響く言葉”をいただきました。

- ◎計画（事業）成功の秘訣は、丸投げせず、手間暇をかけ、プロセスを大事にする
- ◎相互学習の姿勢を大切にする
- ◎学習によって意識・考え・行動が変われば教育は、まちを変える源となる
- ◎社会教育は役所の中で一番幸せな部署である

【受講者の感想】

- ・地域に持ち帰り、自分たちの地域づくりのヒントにしたいです。
- ・青年の発掘や地域とのネットワーク、大切なポイントに改めて気づきました。事業の目的や効果を明確化していきたいです。
- ・まちづくりに対する意欲や方策がすばらしかったです。
- ・目標や理想に向かって継続する力が必要だと気づきました。

社会教育の最前線で活躍している講師のお話と山形での先進的事例は受講者にとって大変充実した研修となりました。

来年度も県内外の事例を紹介し、受講者が活用できる内容の研修を開催する予定です。

青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>